

日本画

感じたままを表現する

伝わる絵

港の景色を描く受講者。夕空に月が浮かんでいる。

「絵の主題はこの月ですね。あなたはその月を見たとき、何を感じましたか」。問いかける仲裕行さん。「船を見守っているようでした」と受講者。「では、その月の優しさを描きましょう」と仲さんはアドバイスする。

「絵を描くときに大切にしたい」と思っは、『これを描きたい』と描いたときの印象です。例えば花を描くときでも、そのときの匂いや光はどうだったか、生き生きとしていたのか哀



絵とは何か

明治時代に西洋から入ってきた絵画様式に対して日本画という言葉ができた。でも、日本画の定義は曖昧だ。岩絵の具を膠と水で溶いて使うことが画材の特徴だが、それも日本だけの技法ではない。

「私はこれが日本画だと言いつける必要はないと思っています。ただ、日本という国には、シルクロードの終着点として様々な国の文化や宗教のエッセンスが凝縮されています。それが日本の歴史や文化、風土と相まって独自性や感性が育ち、日本画



仲裕行

ITOMAKI, Naoya
日本美術院特待、日中文化交流協会会員。
東京芸術大学美術学部日本画科卒、
同大学院修士課程修了。
師は平山郁夫氏。
中国少数民族や動植物などモチーフは多岐にわたる。
来年5月に日本橋三越本店で個展を開催予定。

のバックグラウンドにもなっています。空気感、空間、気配といった情緒的な表現は、日本画ならではの描き方だと思います」

大学時代に、平山郁夫氏のもとで学んだ仲さん。

「平山先生にも『日本画の描き方はこうだ!』と言われたことはありません。私たち学生の絵を見て『頑張っているね!』と言うだけです(笑)。ただ、『絵とは何か』を教えてくださいましたように思います」

絵の表現は一人ひとり異なる。その人の人生経験や感じ方の違いが現れてくるからだ。「じゃあ、私の絵とは何か。そ



花のセレナーデ 30号



富貴花 6号



おひるね 4号

※上記3点は仲さんの作品です



受講者の話を聞き、質問をして、そのときの印象を思い出させようとする仲さん。「写真からスケッチするのではなく、感じたことを描いてほしい」



●仲裕行さんの講座

恵比寿 13:30~16:00
日曜 13:00~15:30
木曜 10:10~12:40

おすすめ講座

日本画

- 恵比寿
やさしい日本画
日本画家 長尾英代
第2・4水曜 13:00~15:00
- 荻窪
初歩からの日本画
日本画家 井上明敏
第2・4金曜 16:00~18:00
- 錦糸町
楽しい日本画
日本画家 長谷川誠
水曜 10:00~12:30
- 北千住
はじめての日本画
日本美術院院友 松下雅寿
第1・3水曜 10:30~12:30
- 金町
日本画を楽しむ
創画会所属 香野ルミ子
金曜 12:20~14:20
- 町屋
日本画入門
創画会会員 目黒祥元
第2・4日曜 12:40~14:40
- 八王子
日本画
日本美術院 竹内茂樹
月曜 10:30~13:00
金曜 15:30~18:00
- 大森
日本画
日本芸術家連盟会員 小川幸治
第1・3・4火曜 13:00~15:30
- 川崎
日本画
日本美術家連盟会員、横浜美術協会理事 品川成明
第1・3水曜 13:00~15:00
- 横浜
日本画・素描(デッサン)
創画会所属 神彌佐子
木曜 13:00~15:30
- 京葉
はじめての日本画
日本画家 永井翔彩
第1・2・3土曜 10:00~12:30
第1・2・3土曜 13:30~16:00
- 柏
日本画 美人画から静物まで
東京芸術大学日本画専攻卒
(後藤純男門下)、日本画家 後藤仁
第2・4土曜 15:00~17:00
- 浦和
内藤五郎 四季の日本画
日本美術院特待 内藤五郎
第2・4土曜 15:00~17:00
- 川口
日本画の手ほどき
日本画家 渡辺千代
第1・3火曜 13:00~15:00
- 大宮
たのしい日本画
日本画家 田部井月四
第2・4土曜 12:30~14:30
- 宇都宮
基礎から楽しく描く日本画
日本美術院院友 中村ひろみ
第1・3木曜 13:40~15:40
- 自由が丘
日本画
日本美術家連盟会員 飯野静江
月曜 10:30~13:00
- 町田
やさしい日本画
東京芸術大学大学院修了、画家
よこた裕見子
第1・3火曜 15:30~17:30
- 川越
はじめての日本画
東京芸術大学卒 富永晃代
第2・4月曜 12:45~14:45

※センターの連絡先は42ページ